

開館30周年記念となみ野音楽祭

『 尺八とオーケストラの調べ 』

期日 2013年3月20日(水・祝) 砺波市文化会館

昭和57年4月に砺波市文化会館が開館して以来30年が経過しました。開館当時県内にホールは、富山市(2館)、高岡市、氷見市、滑川市、黒部市、当時の新湊市と砺波市と8ホールしかありませんでした。現在では、富山県公立文化施設協議会の加盟館が35館、その他北日本新聞ホールやインテック・スカイホールなど7館、計42館となっています。この30年で随分、世の中が変わりました。各々の会館で主催事業を開催して県内でのイベントも大変多くなり、コンサートや芝居、ミュージカル、オペラなど多彩な催しが楽しめるようになりました。

砺波市文化会館では、開館30周年記念として「尺八とオーケストラの調べ」を開催します。指揮者に鈴木織衛氏、管弦楽がオーケストラ・アンサンブル金沢、尺八は片山瞳山氏の出演です。

曲目は、廣瀬量平の鶴林(かくりん)。クシナガラ城外バツダイ河西岸の沙羅双樹の林。釈迦(しゃか)が入滅した時、鶴の羽のように白く変わって枯れたという。鶴の林を題材にした曲です。

外山雄三の管弦楽のためのディヴェルティメントは、岩城宏之の依頼により作曲された曲で、初演は、



尺八
片山 瞳山



指揮
鈴木 織衛

岩城指揮ブラハ交響楽団によって行なわれています。曲は3楽章からなっています。外山の有名な「ラブソディ」同様、1楽章は「ドンパン節」、2楽章は「ひえつき節」など日本民謡が各楽章のモチーフとして使われています。

ロータス(蓮)・コンチェルトは、片山瞳山氏が、三木稔氏へ尺八協奏曲を依頼して2002年に片山氏とルーマニアのトランシルヴァニア交響楽団により初演された曲です。平和への祈りを込めた曲です。今回は、尺八とオーケストラのよる和と洋の共演を楽しんでいただければと思います。

砺波市文化会館 西 一彦



管弦楽
オーケストラ・アンサンブル金沢

砺波市美術館 『平成25年度 となみ芸術文化友の会 会員募集』

平成25年度 となみ芸術文化友の会の会員を募集しています。

イベントガイド・研修会案内・企画展招待・主催チケットの割引など。詳しくは、砺波市美術館まで。